

西紀っ子だより



「未来を切り拓き、夢をかなえる力の育成 ～郷土を愛し ところ豊かに たくましく～」

◇丹波篠山市立西紀小学校

◇〒669-2716 丹波篠山市乗竹650

◇TEL: 593-0024 ◇FAX: 593-0249

◇E-mail: el-nishiki@school.sasayama.jp

◇HPIはこちらへ→



No. 7

(文責: 安井健二)

「・・・でさ～！」

校長 安井 健二

10月24日に丹波の森国際音楽祭「シューベルティアーデたんば2024」の協力を得て、「ふるさと音楽広場」を開催しました。チェロの斎藤さん、フルートの山本さん、ピアノの細見さんにお越しいただき、プロの演奏を聴かせていただきました。やはりプロの演奏は、心にゾーンと響き、うっとりする音色でした。ご来場いただいた地域の方からも、「すばらしかった！また来年も是非やってください。」という声をいただきました。

その演奏曲の一つに「ふるさと」がありました。聞き慣れた曲なのに、ふるさと「丹波篠山」の情景を考えながら聴いているとゾーンと心に熱いものが込み上げてきました。

さて、先日ある大学の先生とお話をしていた時のことです。その先生が「もうしばらくすると方言はなくなるかもしれません！」と言われました。「方言がなくなる？どういうこと？」と思い聞いてみると、テレビの影響なのか、TikTok、YouTube等の視聴の影響なのかは分かりませんが、家族や周りの人から方言を聞いたり、方言を使って会話をしたりすることが減っているということでした。確かにそうしたものを視聴したことがなく、言葉を話し出した1歳7ヶ月の孫などは、「じいじ、**おった!**」とイントネーションも単語も、周りの人が話す言葉を純粋に習得し始めています。しかし、言葉を覚え、心を育てるのに大切な時期の幼稚園児でさえ「～～でさー。」「でさー、～～。」と標準語？関東語？を話す園児が増えていて、方言を使う園児は減っているようです。

昭和～平成初期にはまだあまりSNSもなかったので、私が大学生だった頃には各地方から来た友だちの方言やお国言葉を笑ったり、その良さを話したりしたものです。

例えば、愛媛の友だちは「さとういくつはめる(入れる)?」「お風呂にお湯をはめて!(入れて!)」と言うので、「はめる?って、なんじょー」と言うと、「なんじょーって、なんじょー?」と言い返されたりしました。特に、私が使う方言の中でよく笑われたのが、雨の降り方を表す「雨がピリピリ降る」の「ピリピリ」です。本当によく笑われました。しかし、私にとっては最高の様態を表す言葉だと今でも思っているのですが・・・。「ポツポツでもなく、ザーザーでもなく、五月雨でもない。」やっぱりこの降り方は丹波篠山の雨の降り方をとてもよく表していると思うのですが、みなさんはどうでしょうか？

方言は地域の文化や歴史を反映しており、その土地の風土や人々の暮らしを感じとることができます。また、方言のぬくもりは故郷の情景を思い出させ、心に安らぎを与えてくれます。つまり、私たちのアイデンティティを育てるためには必要不可欠なアイテムであると言えるのかもしれませんが。そんな方言も、ユネスコによると、世界で約2500語が消滅の危機にあり、日本国内でもアイヌ語、八重山語などの8言語が消滅の危機にあるそうです。ふるさと「丹波篠山」を感じる私たちの方言もなくなってしまおう時が来るのでしょうか？

標準語と言われる言葉を習得して使うことを否定するつもりは全くありません。ただ、方言に反映されたふるさと「丹波篠山」のぬくもり、温かさ、創造力を大切に身に付け、育て、発信する「西紀っ子」に育って欲しいと思っています。

広島へ修学旅行に行きました。

10月17日、18日、6年生が広島へ修学旅行に行きました。

1日目、交通渋滞で若干到着が遅れましたが無事広島市へ到着しました。まず、被爆された方から体験講話を聞きました。お話に共感した気持ちのまま、広島平和記念公園で平和への誓いを捧げ、千羽鶴を奉納しました。その後、広島平和記念資料館に行き、展示されているものを見ながら「戦争の悲惨さ」と「平和の尊さ」を感じることができました。

その日の宿泊先は宮島内のホテルでしたので、フェリーで宮島に渡り、そこで見たライトアップされた厳島神社の鳥居は幻想的で、今でも賑に焼き付いています。

誰もが楽しみにしていたホテルでの友だちとの一時は、きっと良い思い出としていつまでも心に残ることでしょう。



2日目は、ホテル出発

後、五重塔、千畳閣、厳島神社、宮島水族館を見学し、お楽しみのお土産購入タイムでした。それぞれが、家族のことを考えながら、そしてお小遣いと相談しながら、思い思いのお土産を購入していました。

最後の昼食は、広島焼体験でした。お店の方に教えてもらいながらでしたが、みんな上手にできて、大きなお好み焼きを頬張っていました。

満腹になり、適度にバス

に揺られ、心地よい時間を過ごしながら西紀小への帰路につきました。

14名の6年生にとって思い出に残る修学旅行になったことだと思います。



地域校外学習・・・お世話になりました

今年もまちづくり振興会の方々の協力を得ながら、ふるさと西紀の「いいとこさがし」をする地域校外学習を10月30日に行いました。今年は、1～3年生が、黒豆の館、弘誓寺、フードショップ

いじりを、4～6年生が西紀農産加工組合、弘誓寺を訪問させていただきました。全校学習タイムで考えた黒豆レシピを渡したり、米作りに対する思いを聞かせてもらったり、買い物をさせてもらったりしました。特に、弘誓寺では住職さんにお寺の話をお聞かせもらうことに加え、お寺に収蔵されている地獄の掛け軸を見せてもらったり、座禅体験をさせてもらったりしました。「ふるさと西紀」の素晴らしさを改めて感じる一日になりました。



12月の主な行事

12月	20日(金)	給食最終日 (全校終会 12:35)
3日(火) マラソン大会	23日(月)	大掃除 (全校終会 11:35)
4日(水)～5日(木) 個人懇談	24日(火)	2学期終業式 (全校終会 11:35)
11日(水) 朝のお話会		
13日(金) 委員会活動		
16日(月) 人権朝会		